

**製品名: C7 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07756**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	93kDa

**抗原情報**

遺伝子名	C7
別名	C7; Complement component C7
遺伝子 ID	730.0
SwissProt ID	P10643
免疫原	抗血清はヒト C7 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 100-150

**背景**

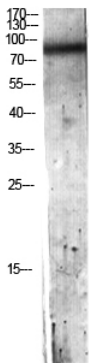
C7 は補体系の構成要素であり、膜侵襲複合体（MAC）の形成に関与しています。C7 欠損症の人は細菌感染症にかかりやすい傾向が

あります。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],疾患: C7 の欠陥は、C7 構成要素欠損症 (C7D) の原因の一つです[MIM:217070]。C7D 患者は、主に髄膜炎菌 (Neisseria meningitidis) による反復性細菌感染症に悩まされています。機能: C7 は膜侵襲複合体の構成要素です。C7 は C5b に結合して C5b-7 複合体を形成し、膜アンカーとして機能します。オンライン情報:C7 変異 db,PTM:C7 には 28 個のジスルフィド結合があります。類似性:補体 C6/C7/C8/C9 ファミリーに属します。類似性:1 つの EGF 様ドメインを含みます。類似性:1 つの LDL 受容体クラス A ドメインを含みます。類似性:1 つの MACPF ドメインを含みます。類似性:2 つの Sushi (CCP/SCR) ドメインを含みます。類似性:2 つの TSP タイプ 1 ドメインを含みます。サブユニット:モノマーまたはダイマー。C5b-7 複合体として、マルチマーロゼットを形成することもできます。、

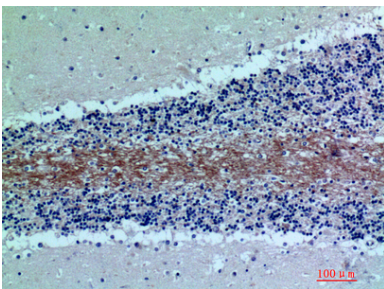
## 研究分野

補体および凝固カスケード、プリオン病、全身性エリテマトーデス、

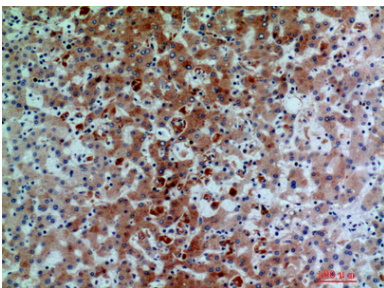
## 画像データ



C7 抗体を用いた HeLa 細胞溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された